

「なんか変?」

根本 勉 ①

以前、何度も紹介しましたが、相変わらず原因不明の体調不良に悩んでおられる方が多いようです。そして増えています。よく耳にするのは「今までこんなことは無かったんだけど年のせいかな?」どの病院に行っても「も悪くない!」と言われてしまう。サプリメントや薬をいくら飲んでも変わらないとか?

この原因は一体、何なのでしょう? 実は自分も約十年ぐらい前に似たような経験をしました。元々視力障害者の私は「目の病気と関係があるのでは?」と考えておりましたが、それだけではありませんでした。その仕組みは長年お世話になっている豊岡クリニックの豊岡先生により、少しずつわかるようになってきました。

これは人によって千差万別なのでかなり複雑多岐にわたるため、単一的なものではありません。その原因は重金属や放射能、虫刺されによるもの、遺伝的なもの、古傷、電磁波、食品添加物、飲料水、カビ、ウイルス、細菌、ストレス、合わない食べ物、合わない衣類。合わない身の回り品(御守り、ペンダント、ペン類、バッグ、指輪、メガネなど)、置物、額、家具調度品、などなど、あまりにありすぎて何がなんだか分からないくらい複雑なんだそうです。

これらのモノがどういう理由で問題かという点、人の身体は六十兆個以上の細胞でできていると言われてます。そして、そのあらゆる細胞は絶えず生まれ変わっています。そのときに重要なことは染色体という細胞を作る設計図が正確でなくてはなりません。その染色体に金属やカビ、ウイルスなどが付着するとともな設計図ではないため、ゆがんだ細胞が出来上がります。当然最初に生まれた細胞がまともでない、次もまともな形ではないので、これらを繰り返しているうちに弱々しい細胞で身体が作られていきます。こういった状態が続くと原因不明の体調不良につながるようです。

③

「良かれと思ったことが…」

根本 三枝子

「こんなことをすれば暮らせないじゃないか?」
と言われそうですが、それだけ現代人の病気の原因は複雑になっているのか? いずれにせよ上記に該当する人は私のような治らない病気を抱えている人が対象であって、特に問題のない方は気にしなくていいと思います。

実は意外と簡単にチラックする方法があるのです。ホテルや旅館などに泊まったとき、目覚めがいつもと違うと感じた経験はありませんか? 確かに温泉や至れり尽くせりのサービスのせいで心地よさと感じるかもしれませんが、できればバンガローのような殆ど何も無い所に泊まってみてはいかがでしょう?

その際は携帯、スマホの電源を切つてなるべく体から離しましょう。もし、そのような身の回りに殆ど何も無い環境で普段と違う心地よさを感じたら自分の周りに何らかの影響を与えているものが存在すると考えた方がいいです。

また、食事の直後、急に眠気を催したりした場合もなんらかのカビや細菌、ウイルスの影響を受けたかと思つた方がいいと思います。このほんの少しの微弱的な変化に気づくのが大切だとか。

なんだか分からない体調不良であっても必ず原因はあるはず。私もあきらめず原因を追求し、適切な療法を見つけたと考えております。その他にもまだまだお伝えしたいことがあります。今回は染色体の役割とダメージを受けた細胞が体調不良の原因の一つになっていることを報告させて頂きました。詳しくは豊岡クリニック「健康発見伝」のブログをご覧くださいましたら幸いです。

つづく



②

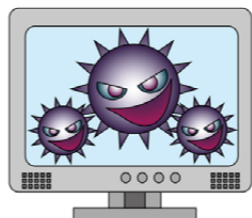
問題はこれらの症状がひとりひとり皆違うという厄介な仕組みだからです。例えば夫婦や親子であっても同じ条件にもかかわらず症状や処方薬が異なるのだそうです。しかも長年にかかって少しずつむしばまれるので非常にわかりにくいのだそうです。細胞には臓器を形成するモノばかりではなく、免疫細胞という大事な細胞があります。好中球(細菌をやっつける)、好酸球(虫の毒をやっつける)、好塩基球(カビをやっつける)、B細胞(ウイルスをやっつける)、NK細胞(ナチュラルキラー細胞: 癌細胞をやっつける)などその他にも多くの種類の免疫細胞がありますが、今回はこの種類に絞って説明を進めます。

まず、虫の毒は刺されることによつて、または傷口から: 或いはカビ、ウイルス、細菌などは口や鼻から侵入しますが、日常的に口の中をキレイにするとかかなり結果が違います。

また、放射能やカビ、ウイルス、細菌などが染色体に付着すると各種の細胞がまとも出来ない仕組みはご理解いただけたいと思いますが、では、なぜ身につけるモノや置物が身体にダメージを与えるのでしょうか? 私たちを取り巻く全ての物質には各々微弱に固有の振動を持っています。

このとても微弱な振動がその人の細胞に少しずつ影響を与えるというのです。電磁波はさらに強力な場合によつては細胞そのものを破壊することもあります。このようにいつの間にか体にダメージを与えているのですが私たちはそこに全く気がつきません。

誰も部屋に飾つた人形やこけし、花や置物、家電品や家具調度品などが原因になっているとは思いません。



中部大学の武田邦彦先生の話によれば『そもそも大腸菌にとつてトイレットペーパーの繊維はザルのようなもので、簡単に奥深くまで浸透してしまふ』と言っておられます。

かねてよりトイレットペーパーは不潔なので気をつけたほうがいいと警鐘を鳴らしていた。十枚重ねでも清潔ではなく、二十枚でもダメ。一九九一年に日本防菌防黴学会が発表したところによると三十六枚重ねでようやく大腸菌の付着を防ぐことができただけだといふ。

トイレットペーパーを経由して細菌に感染してしまうとはなんとも恐ろしい話だ。きっと当の本人はどこで感染したかも分からず、首を傾げるのだらう。科学技術の進歩で昔の常識が覆ることは多々ある。そもそも三角折りがマナーがいいとされる理由も今ひとつ納得感がないものだった。

「これからは、トイレットペーパーの三角折りは不潔なのだ」という知識を広めた。一との事です。

まさかと思いきや、良かれとしたことが三角折りをする前に手を洗う人は殆どいないかも?

そういえばいつものクリニックの豊岡先生もトイレットペーパーから細菌に感染するので注意するようにと言われておりました。

そもそもトイレットペーパー自体、ティッシュペーパーほど殺菌処理はされていない。三角折りをする際には掃除をするときなどにしたほうが良いのかも知れないですね!



メンバーの小部屋

趣味のことから思った事、感じた事など自由にコメントしております。楽しんで頂けると幸いです。



「ミキサー」

平尾 和重



先日ミキサーで作ったジュースをごちそうになりました。

バナナとホウレン草、そして牛乳を原料にただけのシンプルなものなのですが、これがとても美味しいのです。砂糖などの味付けをしてはいないのですが材料の自然な甘味はちょっとクセになりそうです。

さっそく自分の子供達にも作ってあげようと思い、ミキサーと材料を購入し、準備万端。休みの日に父親からのサプライズおやつとしてごちそうし子供達の驚く顔を期待していました。ところが!! です。休日を残り1日という日の仕事から帰ったある日、聞きなれないモーター音が台所から! おそろおそろ入ってみるとそこにはジュースをつくる奥さんと喜んで飲んでいる子供達。なんと私が用意していたものを見つけた奥さんが私の計画を察知し勝手にジュースを作っていたのです。啞然としている私に奥さんが一言「美味しいジュースがあるよ、飲む?」う〜ん、まさかこんな結末とは予想出来ませんでした、目的は半分達成はできたので結果オーライ!?(笑)

ちよいメッセ



「モリアオガエル」

平尾 和重



先日、子供と信夫山のモリアオガエルの繁殖地の池で卵を見つけてきました。

一年で決まった時期にしか見れないので、見る事ができて良かったです。

このカエルは主に山の中に住み、産卵期に池の上にある木の枝に白い泡に包まれた卵を産みます。泡に守られた卵はオタマジャクシになると下の池に落下するという変わった生態を持っています。

テレビなどでも紹介されているのでご存知の方も多いかと思いますが、実際に見たのは今回が初めてです。まさか身近な信夫山にいるとは思いませんでした。

カエルが大嫌いな奥さんとは一緒には見に行けませんが、今のところカエルが嫌いではない子供達とまた機会があれば見に行ってみたいです(笑)



「家電」

佐藤 信吾



最近電子レンジの調子が悪かったので、オープンレンジに買い替えました。家電量販店に行き色々見ていると最近機能も様々なものがあり驚きました。一人暮らしをしている時は使えれば(温めが出来れば)何でもいやと思っていたのですが、こんな便利なものがあつたなんて…自動で感知してその物に合った秒数を温める自動温めの機能に思わず感激してしまう自分(笑)ちなみに私はオープン機能は一切使わず、温め機能しか使いません。(正確に言うとそれしか使えません)オープン機能は全て奥さん任せです(笑)主婦の皆様がオープンレンジの虜になるのも頷けますね。それくらい家電の機能が上がってきているのだなと思います。ただ、家電量販店はあまり奥さんと行くものではないなと少し感じました。なぜかという、一緒に行くといつ「これが欲しい!」と言われるのか分かりませんので(笑)最近の家電は機能も充実しているけど、何よりも値段が高いんだよね。



私のオススメの一冊

「夜と霧」を読んで

平尾 和重



ヴィクトール・E・フランクル著

本書はかの有名な第2次世界大戦時のドイツの強制収容所での体験をもとに書かれたものです。

心理学者であった著者が実際にあった出来事を彼のその時の心情と共に、心理学者という立場から生々しく伝えています。

歴史の教科書が伝えている壮大な悲劇や事実は今まで何度も伝えられてきていますが、ここでの体験記は強制収容所の日常が被収容者にどのように映ったのかなど彼ら個人個人のおびただしい小さな苦しみを知ることができます。また、著者の体験を通し、読者もその中に一緒に収容されて過酷な状況に置かれているような気にさえなります。

この体験記を読んで感じたことは人間というのは「考え方」次第で強くもなれるし、弱くもなれるという事です。もちろん収容所という状況下の考え方だけでは生き残れないのですが、これを現在の日々の生活に置き換えると、とてもその大事さに気づかされます。

困難や壁にぶつかるにつれ逃げ出したいくなりがちですが、少し深呼吸をして見方を変えてみると前向きな気持ちになれたり、新たな解決策が見つかることもあります。

その事を本書では収容所というものを知ると共に困難に直面した時に人間はどのような行動に出ればよいのかを教えてくれているかの様に思います。

歴史に興味がある方や何となく壁にぶつかっているかなという方にも参考になるおすすめの一冊です。



「農業」

我彦 武大



安定しない気温のなか、皆様いかがお過ごしでしょうか?

私はスイカを毎年、種から植えていますが、今年は5月下旬の段階でスイカが全滅してしまいました。

原因としては、気温が低かったのが問題だと思えます。スイカの原産地は南アフリカで気温は最低でも20℃の環境でないと育たないそうで、今年の5月は30℃を越え真夏日になったり、朝晩の気温が10℃ほどになったりと寒暖差が激しくビニールを掛け屋外で育てましたが、うまく温度調節ができなかったようです。(去年は暖かい日に種を巻き、気温もそこまで下がらなかったのでうまく種から作れましたが…)

また調べてわかったのですが、スイカの種は嫌光性なので、室内で25℃を維持できる環境が一番良いそうです。

種から作るときはやはり暖かい屋内で本葉が4枚になるまで育ててから畑に移す方が良さな感じました。